

第2期大野市子ども・子育て支援事業計画に基づく令和3年度の実績等  
～ 子どもと子育て支援施策の中から抽出した8事業 ～

(1) 結婚、妊娠、出産に向けた環境づくり

○ 結婚新生活支援事業

令和3年度からの新規事業で、若い新婚世帯に対し結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用を支援する事業です。2つの支援があり、住宅賃貸費用や引っ越し代等への補助は最大60万円、結婚祝金は10万円です。令和3年度は、住宅等補助は5組へ、結婚祝金は9組に支援しました。新規事業であり、市民へ事業が浸透していなかったこと、また、いずれの支援も所得要件があるため、対象とならないケースがあり、目標を下回りました。

【課題と今後の方向性】

市民へ浸透していない事業であるため、窓口や広報紙、HP、市公式LINEなど、あらゆる手段により市民へ周知していくことが必要です。引き続き、婚姻届を提出した時の声かけや、新婚世帯へ個別のチラシを送るなど、きめ細かな対応を行って行きます。

(2) 乳幼児の発育・発達に向けた支援の充実

○ 地域子育て支援センター管理運営経費事業

地域子育て支援センターにおいて、子育て親子の交流の場の提供や、相談・援助、子育てに関する情報提供などを行っています。親子で楽しい時間を過ごすための「たんぽぽ広場（遊びの広場）」や「ほのぼの広場（公立保育園開放）」の他、講座やイベントを開催しています。

月2回の土曜開所にあわせて、父親の育児参加を促進するため、新規で「お父さんと運動会」を開催しました。また、リサイクル広場の実施やALTを招いてのクリスマス会など、親子が楽しめる行事を企画し、利用促進を図りました。その結果、令和3年度の延べ利用者数は8,135人となりました。

【課題と今後の方向性】

未就園児童の親子にとって、センターは子どもを安心して遊ばせることができ、保護者同士が交流できる場所です。このことから、コロナ禍においても、感染予防

対策を講じ休所することなく事業を実施することが求められています。

また、利用者の声を聞き、より利用してもらえようイベントや講座の内容などを充実する必要があります。

### (3) 乳幼児期の教育・保育の提供

#### ○ 保育所管理運営経費

公立保育所4園を適正に運営しています。通常の保育に加え、障害児保育、一時預かり、延長保育などを行っています。

民間保育所等を含め、令和4年度の入所申込みを、初めてオンライン申請とし、保護者の利便性の向上と事務の効率化を図りました。その結果、98%がオンライン申請を利用しました。

公立保育所では、長年にわたり児童の絵画に力を入れています。毎年、講師を招き保育者が研修を受けており、令和3年度は、県幼児画コンクールであかね保育園が団体の部最優秀賞を受賞しました。

#### 【課題と今後の方向性】

少子化に伴い、保育所や認定こども園の児童数は減少傾向です。特に、公立保育所がある村部や山間部では、園児の減少が顕著であり、定員20人以下の地域型保育事業への移行など、今後の公立保育所の在り方を検討する時期にきています。

令和4年度は、第2期子ども・子育て支援事業計画の中間年に当たることから、中間見直しの中で、公立保育所の在り方について検討していきます。

#### ○ 民間保育所等運営費

民間の保育所、認定こども園10園に、保育の委託や施設型給付費の支給により、教育・保育が適切に提供されるようにしています。全ての園において、延長保育と一時預かりに取り組んでいます。障害児保育や、休日保育を実施している園もあります。

公立保育所と共に、幼小接続協議会へ参加しました。それぞれの指導者がつながりを持ち、各学校区での授業見学や保育見学を行うことで、スムーズに保育所等から小学校へつながるよう学び合いました。

成果指標の待機児童については、公立保育所も含め、令和3年度はいませんでした。

#### 【課題と今後の方向性】

少子化に伴い、保育所や認定こども園の児童数は減少傾向です。各園が安定した

経営を維持していくため、特定の園に児童が集中しないよう、定員に対する入所児童の適正化を行っていきます。

### ○ 子ども医療費助成事業

子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、子どもが医療機関を受診した際に、保険診療部分の医療費をその場で助成し、窓口無料化としている事業で、全国トップクラスの事業です。令和2年10月診療分から、対象を中学生から20歳までに拡大しました。ただし、19～20歳は、県内の大学等に通うものに限定しています。

令和2年7月より、保護者の利便性を図るためオンライン申請を始めました。令和3年度の対象者の認定率は100%でした。

#### 【課題と今後の方向性】

18歳到達の年度末までは、一度申請をすれば受給者資格を有することになりますが、19～20歳については毎年申請が必要であることから、HPや広報紙により周知を図り、申請漏れにならないようにする必要があります。また、高校生には卒業時にチラシ等により周知し、事業の利用促進を図ります。

### ○ 地域子育て支援センター管理運営経費事業（再掲）

地域子育て支援センターにおいて、子育て親子の交流の場の提供や、相談・援助、子育てに関する情報提供などを行っています。親子で楽しい時間を過ごしてもらうための「たんぽぽ広場（遊びの広場）」や「ほのぼの広場（公立保育園開放）」の他、講座やイベントを開催しています。

月2回の土曜開所にあわせて、父親の育児参加を促進するため、新規で「お父さんと運動会」を開催しました。また、リサイクル広場の実施やALTを招いてのクリスマス会など、親子が楽しめる行事を企画し、利用促進を図りました。その結果、令和3年度の延べ利用者数は8,135人となりました。

#### 【課題と今後の方向性】

未就園児童の親子にとって、センターは子どもを安心して遊ばせることができ、保護者同士が交流できる場所です。このことから、コロナ禍においても、感染予防対策を講じ休所することなく事業を実施することが求められています。

また、利用者の声を聞き、より利用してもらえようイベントや講座の内容などを充実する必要があります。

#### (4) 子どもの生きる力を育む教育環境の充実

##### ○ 放課後児童クラブ事業

昼間、保護者のいない家庭の小学校児童を児童センターにおいて保育することで、子どもの安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するとともに、遊びを主とする健全育成活動を行っています。

令和3年度は、利用児童の新型コロナウイルス感染により臨時休館した館もありましたが、感染対策を徹底して事業を実施しています。令和3年度の延べ利用者数は27,798人でした。

##### 【課題と今後の方向性】

市内5児童センターにおいて、放課後児童クラブを適切に運営し、放課後における安全で安心な子どもの居場所が確保できているので、引き続き、感染防止対策を講じた適切な預かりを継続する必要があります。

利用児童の中に、気がかりな児童が増えていることから、指導員による適切な対応が求められています。

また、放課後の居場所は、居住地区により放課後児童クラブと放課後子ども教室に分かれているため、市全体として、居住地域にとらわれない放課後対策の検討が必要です。

#### (5) 支援を必要とする子どもと家庭への支援

##### ○ 医療的ケア児受入事業

保育の必要があり、日常的に医療的なケアを必要とする修学前児童を、令和2年度から公立保育所のあかね保育園で受け入れています。看護師1名と主任保育士1名を配置し、週3日、1日4時間の保育を提供しました。ケア会議を開催しながら、よりよい保育が提供できるよう、主治医や保育士が連携を図っています。

令和3年度は3名の医療的ケア児を受け入れました。

##### 【課題と今後の方向性】

医療行為が必要であるため、看護師の配置や、緊急事態が発生したときの対応などの職員同士の情報共有が重要です。保護者の就労支援のためにも、保育日数や保育時間の拡充が求められています。

## (6) 地域全体で子どもと子育てを支える社会づくり

### ○ 地域組織活動育成事業補助

児童の健全な育成を図るため、保育所、認定こども園、児童センターを拠点とする団体や、学校の休業中に児童の保育を行う団体の活動に対し補助する事業です。補助対象の活動は、研修会や食育活動、世代間交流、地域間交流、伝統行事等の普及継承など、児童福祉の向上に寄与する活動です。

コロナ禍で、計画した活動が出来なかった団体が多くみられましたが、令和3年度は17団体に補助しました。

### 【課題と今後の方向性】

コロナ禍で、団体の活動自体が縮小したことにより、団体の活動が低迷しているのが現状です。行事を中止することなく、感染対策を講じながら活動を継続することが求められています。

### 【点検・評価報告の成果指標の達成状況】

成 果 指 標	R 3 目 標	R 3 実 績	R 7 目 標
地域子育て支援センター延べ利用者数	7,374 人	8,135 人	13,692 人
子ども医療費助成事業対象者認定率	100%	100%	100%
結婚新生活支援事業	11 組	5 組	27 組
U 2 5 夫婦支援事業	20 組	9 組	28 組
地域組織活動事業補助団体	16 団体	17 団体	17 団体
保育所・認定こども園待機児童数	0 人	0 人	0 人
医療的ケア児受入事業実施園	1 園	1 園	1 園
放課後児童クラブ事業延べ利用者数	21,634 人	27,798 人	22,500 人